

平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月9日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理担当取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 金山精三郎

(氏名) 吉田 茂

TEL 03-5412-0065

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	7,558	—	△86	—	△92	—	△256	—
21年2月期第2四半期	6,688	15.6	30	△88.8	23	△91.0	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	△9,819.41	—
21年2月期第2四半期	△2,682.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年2月期第2四半期	7,366	—	2,044	—	24.4	—	68,790.63	
21年2月期	7,822	—	2,262	—	25.9	—	77,642.63	

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 1,798百万円 21年2月期 2,029百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	15,020	6.6	46	—	64	—	△280	—	△10,730.09	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年2月期第2四半期 | 26,141株 | 21年2月期 | 26,141株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年2月期第2四半期 | 0株 | 21年2月期 | 0株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年2月期第2四半期 | 26,141株 | 21年2月期第2四半期 | 26,103株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年4月14日に公表しました内容から修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 当資料に記載の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。今後、様々な要因により実際の業績等は、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱や急激な円高と株価の下落等により企業収益は悪化し、雇用情勢の悪化及び個人消費の低迷により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、一般消費者の購買意欲が冷え込み外食を手控えるムードが広がる中で、新規参入者や中食マーケットとの競争激化、「食」の安全・安心に対する社会的関心の高まりに伴い品質管理体制のより一層の強化が要求されるなど、業界内の競争環境は従来にも増して厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループにおきましては、既存店舗の販売強化や新規出店、FC加盟店数の拡大、新業態の企画開発等を積極的に推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、カジュアルレストランを展開する株式会社SALVATORE CUOMO JAPAN及び施設管理事業を展開するタカラビルメン株式会社が売上・利益の増加に貢献したものの、来客数の減少による高級レストランの売上高の落ち込みや、和食レストラン部門、中華レストラン部門、海外部門の業績不振により、売上高は7,558百万円（前年同期比13.0%増加）、営業損失は86百万円（前年同期営業利益30百万円）、経常損失は92百万円（前年同期経常利益23百万円）、四半期純損失は256百万円（前年同期純損失70百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの状況は次の通りとなっております。

①XEXグループ

XEXグループにつきましては、平成21年5月に「The Kitchen Salvatore Cuomo」を韓国にFC店として出店いたしました。なお、高級レストラン「XEX」を中心に来客数の減少による既存店の売上が低調に推移したこと及び和食店舗「八坂通りAn京割烹」の売上低迷（同店舗は平成21年5月に閉店）の影響から、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,677百万円（前年同期比20.0%減少）、営業利益は155百万円（前年同期比29.7%減少）、店舗数は直営店14店舗、FC店1店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループにつきましては、株式会社SALVATORE CUOMO JAPANにおいて引き続き「PIZZA SALVATORE CUOMO」を中心に直営店の新規出店を実施してまいりました。直営店では、平成21年3月に「PIZZA SALVATORE CUOMO SEISEKI-SAKURAGAOKA」、同年8月に「SALVATORE CUOMO & BAR NINGYOCHO」を出店いたしました。

なお、平成21年3月にオープンしました「炭火焼肉An」において出店費用等の負担増があったこと、中華レストラン事業を展開する株式会社CRYSTAL JADE JAPANの店舗及び、和伊授桌餐飲管理(上海)有限公司において出店しております複合レストラン「Y's table Dining & The BAR」の業績不振により、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,423百万円（前年同期比31.9%増加）、営業利益は28百万円（前年同期比17.2%減少）、店舗数は直営店39店舗、FC加盟店15店舗となりました。

③施設管理事業

タカラビルメン株式会社及び平成20年12月に当社の連結子会社となった第一ビルサービス株式会社にて施設管理事業を展開しております。施設管理事業においては、官公庁の予算削減と一般競争入札の導入、民間企業の経費削減等引き続き厳しい環境にあるものの、医療サービス機関や斎場管理等の受注拡大及び新たに連結子会社となった第一ビルサービス株式会社の貢献により、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,331百万円（前年同期比123.4%増加）、営業利益は95百万円（前年同期比96.4%増加）となりました。

④その他の事業

その他の事業は、介護支援事業、経営コンサルティング事業等により構成されております。介護支援事業を展開するタカラケア株式会社では、居宅介護サービスを中心に業績は堅調に推移したものの、平成20年5月に株式会社Y's & partnersの株式を外部へ売却したことによる売上高の減少及びY's TABLE INTERNATIONAL CO., LIMITEDの業務委託費の増加により、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は125百万円（前年同期比15.2%減少）、営業利益は11百万円（前年同期比32.2%減少）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状態

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は前連結会計年度比414百万円の減少で2,544百万円となり、また固定資産合計は前連結会計年度比42百万円の減少で4,821百万円となりました。その結果資産合計は前連結会計年度比456百万円の減少で7,366百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少587百万円、売掛金の増加50百万円によるものであります。

②負債の状態

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は前連結会計年度比89百万円の減少で3,105百万円となり、また固定負債合計は前連結会計年度比147百万円の減少で2,216百万円となりました。その結果負債合計は前連結会計年度比237百万円の減少で5,322百万円となりました。

これは主として、買掛金の増加129百万円、短期借入金の減少120百万円、店舗閉鎖損失引当金の減少50百万円、長期借入金の減少195百万円によるものであります。

③純資産の状態

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度比218百万円の減少で2,044百万円となりました。

これは主として、四半期純損失の計上256百万円、為替換算調整勘定の増加25百万円によるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高と比較して587百万円減少し、1,045百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、94百万円の支出超過となりました。

これは、税金等調整前四半期純損失90百万円に減価償却費194百万円等の調整を加味した上で、売上債権の増加額51百万円、前払費用の増加額22百万円、仕入債務の増加額128百万円、未払金の減少額95百万円、未払消費税の減少額22百万円、利息の支払額30百万円、法人税等の支払額102百万円等があったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、179百万円の支出超過となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出188百万円、有形固定資産の売却による収入32百万円、貸付けによる支出33百万円、貸付金の回収による収入21百万円、敷金及び保証金の差入による支出59百万円、保険積立金の解約による収入25百万円等があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、319百万円の支出超過となりました。

これは、短期借入金の減少による支出100百万円、長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出515百万円等があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間において「炭火焼肉An」の開業費用の負担増や「八坂通りAn」の不振の影響はあったものの、不採算店舗の閉店による効果や、既存店の販売強化・本社部門及び店舗のコスト削減の推進、カジュアルイタリアンレストラン「PIZZA SALVATORE CUOMO」及び施設管理事業の好業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の実績と計画の進捗状況及び今後の予想を併せて検討した結果、通期の連結業績予想につきましては、売上高は15,020百万円（前期比6.6%増加）、営業利益は46百万円（前期営業損失49百万円）、経常利益は64百万円（前期経常損失76百万円）、当期純損失は280百万円（前期純損失433百万円）を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しく変動していないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）を適用し、評価基準については最終仕入原価法から最終仕入原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

④ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,045,325	1,633,289
受取手形及び売掛金	725,849	674,971
商品	183	126
製品	5,570	8,427
原材料	256,278	264,255
貯蔵品	34,827	34,612
その他	477,438	343,785
貸倒引当金	△492	△478
流動資産合計	2,544,981	2,958,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,690,453	2,739,965
その他(純額)	423,169	388,679
有形固定資産合計	3,113,622	3,128,645
無形固定資産		
のれん	475,308	490,856
その他	45,585	47,629
無形固定資産合計	520,893	538,485
投資その他の資産		
敷金及び保証金	790,868	757,916
その他	407,867	450,287
貸倒引当金	△11,479	△11,396
投資その他の資産合計	1,187,256	1,196,807
固定資産合計	4,821,773	4,863,938
資産合計	7,366,754	7,822,928
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	736,163	606,320
短期借入金	1,179,175	1,300,000
未払金	772,627	817,472
未払法人税等	138,532	113,475
賞与引当金	32,122	29,849
ポイント引当金	22,248	28,933
株主優待引当金	16,742	16,629
店舗閉鎖損失引当金	—	50,000
その他	207,972	232,676
流動負債合計	3,105,584	3,195,356

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
固定負債		
長期借入金	2,022,500	2,217,500
退職給付引当金	2,493	2,053
役員退職慰労引当金	1,647	669
その他	190,324	144,433
固定負債合計	2,216,965	2,364,656
負債合計	5,322,549	5,560,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	858,295	858,295
利益剰余金	116,199	372,888
株主資本合計	1,804,869	2,061,558
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	622	443
為替換算調整勘定	△7,236	△32,346
評価・換算差額等合計	△6,613	△31,902
新株予約権	—	4,721
少数株主持分	245,949	228,538
純資産合計	2,044,205	2,262,915
負債純資産合計	7,366,754	7,822,928

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	7,558,554
売上原価	6,606,987
売上総利益	951,566
販売費及び一般管理費	1,038,468
営業損失(△)	△86,901
営業外収益	
受取利息	4,390
協賛金収入	9,698
その他	10,291
営業外収益合計	24,379
営業外費用	
支払利息	26,323
その他	4,034
営業外費用合計	30,357
経常損失(△)	△92,880
特別利益	
固定資産売却益	1,225
保険差益	4,933
新株予約権戻入益	4,721
貸倒引当金戻入額	146
特別利益合計	11,027
特別損失	
固定資産売却損	3,309
固定資産除却損	14
保険解約損	5,481
特別損失合計	8,805
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,658
法人税、住民税及び事業税	147,716
法人税等調整額	98
法人税等合計	147,815
少数株主利益	18,215
四半期純損失(△)	△256,689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,658
減価償却費	194,083
のれん償却額	15,548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	96
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,273
株主優待引当金の増減額(△は減少)	112
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△6,684
退職給付引当金の増減額(△は減少)	440
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	977
受取利息及び受取配当金	△4,399
支払利息	26,323
為替差損益(△は益)	2,677
有形固定資産売却損益(△は益)	2,083
固定資産除却損	14
保険解約損益(△は益)	5,481
保険差益	△4,933
新株予約権戻入益	△4,721
売上債権の増減額(△は増加)	△51,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,094
前払費用の増減額(△は増加)	△22,462
仕入債務の増減額(△は減少)	128,103
未払金の増減額(△は減少)	△95,765
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,256
その他	△52,214
小計	35,068
利息及び配当金の受取額	4,319
利息の支払額	△30,542
法人税等の支払額	△102,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△188,367
有形固定資産の売却による収入	32,032
無形固定資産の取得による支出	△4,491
貸付けによる支出	△33,648
貸付金の回収による収入	21,134
敷金及び保証金の差入による支出	△59,088
保険積立金の解約による収入	25,786
その他	27,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,514

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成21年3月1日
 至 平成21年8月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,825
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△515,000
リース債務の返済による支出	△2,480
配当金の支払額	△200
少数株主への配当金の支払額	△975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,092
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△587,963
現金及び現金同等物の期首残高	1,633,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,045,325

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	X E X グループ (千円)	カジュアル レストラン グループ (千円)	施設管理 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,677,360	3,423,805	1,331,854	125,533	7,558,554	—	7,558,554
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,558	6,452	44,047	—	90,059	△90,059	—
計	2,716,919	3,430,258	1,375,902	125,533	7,648,614	△90,059	7,558,554
営業利益 又は営業損失(△)	155,212	28,751	95,710	11,233	290,907	△377,809	△86,901

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な店舗名称又は事業の内容

(1) X E Xグループ

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ① X E X | ⑤ 毛利Salvatore Cuomo |
| ② The Kitchen Salvatore Cuomo | ⑥ CURTAIN CALL |
| ③ 八坂通りAn | ⑦ XEX CLUB HOUSE |
| ④ LE CHOCOLAT DE H | ⑧ Trattoria & Pizzeria Zazzà |

(注) 平成21年5月に八坂通りAnは閉店しております。

(2) カジュアルレストラングループ

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| ① PIZZA SALVATORE CUOMO | ⑥ TAVOLA CALDA B・A・R |
| ② 伊太利亜市場 B・A・R | ⑦ CRYSTAL JADE 上海ガーデン |
| ③ CAFÉ AL GRAZIE | ⑧ 炭火焼肉An |
| ④ こけこっこ | ⑨ Y's table Dining & The BAR |
| ⑤ Soba GIRO | |

(注) 平成21年3月に炭火焼肉Anを出店しております。

(3) 施設管理事業

- ① 建物保守及び管理
- ② 建物清掃請負
- ③ 斎場管理

(4) その他の事業

- ① 介護支援事業
- ② 経営コンサルティング等

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

本邦の売上高が、全セグメントの売上高の合計に占める割合の90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

科目	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
	金額(千円)
I 売上高	6,688,504
II 売上原価	5,846,261
売上総利益	842,243
III 販売費及び一般管理費	812,206
営業利益	30,037
IV 営業外収益	27,359
1 受取利息	5,997
2 協賛金受入	9,909
3 預り保証金戻入益	5,571
4 その他	5,880
V 営業外費用	34,274
1 支払利息	25,668
2 為替差損	6,224
3 その他	2,382
経常利益	23,121
VI 特別利益	3,151
1 固定資産売却益	28
2 投資有価証券売却益	3,000
3 その他	122
VII 特別損失	3,115
1 固定資産除却損	405
2 子会社株式売却損	2,709
税金等調整前中間純利益	23,156
法人税、住民税及び事業税	77,783
法人税等調整額	24,063
少数株主損益	8,669
中間純損失(△)	△70,021

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	23,156
2 減価償却費	148,485
3 のれん償却	13,397
4 賞与引当金の増加額	1,801
5 株主優待引当金の減少額	△10,961
6 ポイント引当金の減少額	△508
7 受取利息	△5,997
8 支払利息	25,668
9 為替差損	6,224
10 固定資産売却益	△28
11 投資有価証券売却益	△3,000
12 固定資産除却損	405
13 子会社株式売却損	2,709
14 売上債権の減少額	11,036
15 たな卸資産の増加額	△24,369
16 前払費用の増加額	△27,839
17 仕入債務の増加額	134,472
18 未払金の増加額	113,495
19 未払消費税等の増加額	29,319
20 その他	△95,900
小計	341,567
1 利息の受取額	5,144
2 利息の支払額	△24,970
3 法人税等の支払額	△300,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,297
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金払戻しによる収入	20,000
2 有形固定資産の取得による支出	△250,574
3 有形固定資産の売却による収入	28
4 無形固定資産の取得による支出	△1,005
5 投資有価証券の売却による収入	15,000
6 貸付けによる支出	△10,000
7 敷金及び保証金の増加による支出	△87,859
8 連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,394
9 その他	△2,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,225
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増額	100,000
2 長期借入れによる収入	200,000
3 長期借入金の返済による支出	△410,000
4 増資による収入	5,750
5 配当金の支払額	△44,569
6 少数株主への配当金の支払額	△2,483
7 連結子会社増資に伴う少数株主からの払込による収入	35,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,302

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,195
V 現金及び現金同等物の減少額	△418,425
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,339,083
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△18,610
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,902,047

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

	X E X グループ (千円)	カジュアル レストラン グループ (千円)	施設管理 事業 (千円)	その他 の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	3,347,996	2,596,399	596,068	148,040	6,688,504	—	6,688,504
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,188	6,656	43,658	1,777	55,280	(55,280)	—
計	3,351,184	2,603,055	639,727	149,818	6,743,785	(55,280)	6,688,504
営業利益	220,770	34,727	48,743	16,576	320,817	(290,780)	30,037

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な店舗名称又は事業の内容

(1) X E Xグループ

①X E X

②The Kitchen Salvatore Cuomo

③八坂通りAn

④LE CHOCOLAT DE H

⑤毛利Salvatore Cuomo

⑥CURTAIN CALL

⑦RESTAURANT TANGA

⑧Trattoria & Pizzeria Zazzà

(2)カジュアルレストラングループ

①PIZZA SALVATORE CUOMO

②伊太利亜市場 B・A・R

③CAFÉ AL GRAZIE

④こけこっこ

⑤Soba GIRO

⑥TAVOLA CALDA B・A・R

⑦CRYSTAL JADE 上海ガーデン

(3)施設管理事業

①建物保守及び管理

②建物清掃請負

③斎場管理

(4)その他の事業

①介護支援事業

②経営コンサルティング

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

本邦の売上高が、全セグメントの売上高の合計に占める割合の90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。